

第1回あいづ創生市民会議 議事要旨

【日時】 2015/05/29 18:30~20:20

【場所】 会津稽古堂 1F 多目的ホール

【出席委員】 33名（欠席7名）

【会津若松市 参加者】 企画調整課 佐藤課長、邊見副主幹 他

【日本経済研究所 参加者】 社会インフラ本部 鈴木、小原（記）

【配付資料】

- ・ 第1回あいづ創生市民会議 次第
- ・ 座席表／参加者名簿
- ・ 資料1 第6次会津若松市総合計画／第7次総合計画の策定について
- ・ 資料2 会津若松市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生戦略
- ・ 資料3 会津若松市まち・ひと・しごと人口ビジョン（冊子）
- ・ 資料4 あいづ創生市民会議の進め方

会場において、まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、スマートシティ、市民アンケート結果についてのパネル展示を実施

【議事】

1. 開会（佐藤課長）
2. 市長あいさつ（室井市長）
3. 情報共有
 - ① 第6次会津若松市長期総合計画について（邊見副主幹）
 - ② 第7次総合計画の策定について（市民会議の位置づけなど）（邊見副主幹）
 - ③ 会津若松市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略について
 - ④ 今後の進め方について（日本経済研究所 鈴木）
 - ⇒ 2ページのテーマ・内容については、会議の進み具合等により、変更する可能性がある旨説明
 - ⑤ 質疑等（参加者より）
 - ・（資料4の4ページに関し）アンケート結果について、子育てしている世代はどの施策を重点施策と考えているかなどの、より詳細な分析が必要ではないか？
 - ⇒ 今回提示しているのは一部であり、年齢別などの分析結果は別途報告する。（日本経済研究所 鈴木）
 - ・ 市民会議における提言は総合計画にどの程度反映されるのか、反映されない場合はその理由について市から説明がほしい。
 - ⇒ 市民会議における提言は、総合計画策定を行う庁内会議等に提出する。また、庁内会議等における総合計画策定内容については、市民会議にフィードバックする。（佐藤課長）
 - ・ 参加者に若い人が少ない。

⇒ 応募された方の年齢層が高かったためであり、ご了承願いたい。(佐藤課長)
⇒ これから会議が進捗する過程で、周囲の若い人にも声かけして意見を聞いてほしい。
(日本経済研究所 鈴木)

・事前に資料がほしい。

⇒ 希望に沿いたいと思うが、資料準備は直前になる場合もある旨ご了承願いたい。(佐藤課長)

・提言した政策は、実行について検証することが重要と考える。総合計画策定に関わった市民は、総合計画実行の評価者となるか？

⇒ 第6次会津若松市長期総合計画においては、策定に関わった市民6名のうち1名が行政評価も実施している。外部評価委員という制度があるため、希望次第で参加してほしい。また、そういった意見も市民会議で提言していただければ有難い。(佐藤課長)

4. 休憩

5. グループワーク (進行：日本経済研究所 鈴木)

⇒ 最初に10分程度時間を取り、ポストイットに関心事項や何について話し合いたいかといった事項を書いてもらい、自己紹介とともに発表してもらうスタイルとした。

⇒ リーダー、サブリーダーの選出については、次回以降に決定することとした。

⇒ リーダー、サブリーダーの役割は、連絡調整・ファシリテーターとの繋ぎ役とした。

6. 閉会

⇒ グループワークにおいて、参加者の方々各人のポストイットへの書き込み、自己紹介が想定より長いものとなり、当初想定の20時終了から20分ほど延長して閉会